



食品のリスク評価の下支え

内閣府食品安全委員会
事務局評価第一課

田中 鈴子
TANAKA Suzuko

平成14年入省。厚生労働省食品基準審査課、農林水産省畜産部牛乳乳製品課の出自を経て、食品監視安全課では、BSE対策など食肉の安全確保の業務を担当、その後、大臣官房厚生科学課、健康局結核感染症課、産休・育休を経て令和4年より現職。

内閣府食品安全委員会事務局評価第一課の調査研究を担当しております。食品安全委員会は、国民の健康の保護が最も重要であるという基本的認識の下、規制や指導等のリスク管理を行う関係行政機関から独立して、科学的知見に基づき客観的かつ中立公正にリスク評価を行う機関です。食品安全委員会は7名の委員から構成され、その下に16の専門調査会

が設置されています。食品安全委員会では、リスク評価に必要な科学的知見やデータを得るために、研究事業や調査事業を行っております。私は、これらの研究及び調査事業の公募の事務手続きや、研究の採択の評価や事後の評価を実施する評価部会の事務局を担当しております。また、研究の成果発表会も開催し、研究の成果の普及も行っております。

印象に残っている仕事・人・できごと

食品監視安全課では、日本から輸出する食肉 / 食肉製品について、輸出を解禁するために輸出先国と個別に交渉を行う業務に携わりました。輸出先国の現地査察への対応や、衛生管理に関する質問への回答作業は大変でしたが、無事に日本の食肉の輸出が解禁された時は、やりがいを感じました。